

章名 (現行)	章名 (改訂)	現行指針 (主な内容)	第1回-第3回策定委員会 (主な改訂内容)	第1回-第3回策定委員会 改訂のポイント	01_16_第4回策定委員会 (主な改訂追加内容)	第1回-第4回策定委員会 改訂のポイント(最新)
はじめに	はじめに	◆「市民と行政」が、対等のパートナーとしてお互いの役割と責任を意識し、住みやすい宇和島市を作っていく。	◆全体構成を現在の地域課題に時点修正。 ◆「市民と行政の協働」から「多様な主体」がお互いの役割と責任を意識し、住みやすい宇和島市を協力してつくっていくことを記載。 ◆市長答申後、市長の思いや方向性について盛り込み作成。	◆全体の構成について修正。 ◆掲載箇所を指針本編から目次の前に修正。 ◆現行指針から定義が変わった単語や新たに追加した単語についての注釈は、「はじめに」に記載せず本編に記載。 ◆「はじめに」は、市長の思い・方向性について記載するため答申後作成。	「目次」のページという記載を削除。	◆全体の構成について修正。 ◆掲載箇所を指針本編から目次の前に修正。 ◆現行指針から定義が変わった単語や新たに追加した単語についての注釈は、「はじめに」に記載せず本編に記載。 ◆「はじめに」は、市長の思い・方向性について記載するため答申後作成。 ◆「目次」からページという記載を削除。
第1章 指針策定の目的	第1章 指針策定(改訂)の目的	◆地域の課題を解決するために、協働のまちづくりと新しい公共空間の形成を進めるにあたって、市民と行政が協働の考え方や進め方等についての目標を次のとおり掲げ、市民と行政がまちづくりの価値観を共有するために基本的な方針を定める。	◆原稿指針の策定から13年が経過し、協働の在り方を見直す必要が生じたことを記載。 ◆「協働のまちづくり」を進めるにあたって、地域課題を解決するために必要な、多様な主体が互いに力を合わせて協力する取り組みについての考え方などの基本的な方針を定める。 ◆二つの目的として、「協働の考え方の基本的事項の共有化」と「全ての世代の人が協働の担い手であること」を記載。 ◆「はじめに」に記載していた注釈は、「第1章指針策定(改訂)の目的」に記載するよう修正。 ◆注釈には、多様な主体を構成する各主体を記載。	◆「市民と行政」から、「多様な主体」へ改訂。 ◆多様な主体には、「行政」も含め「中間支援組織、外部人材」を追記。 ◆「あらゆる世代の人が協働の担い手であり次世代を担う人材の育成」が、指針策定の目的の一つであることを追記。 ◆「はじめに」に記載していた注釈は、指針策定(改訂)の目的に記載。	なし。	◆「市民と行政」から、「多様な主体」へ改訂。 ◆多様な主体には、「行政」も含め「中間支援組織、外部人材」を追記。 ◆「あらゆる世代の人が協働の担い手であり次世代を担う人材の育成」が、指針策定の目的の一つであることを追記。 ◆「はじめに」に記載していた注釈は、指針策定(改訂)の目的に記載。
第2章 宇和島市の現状と課題	第2章 宇和島市の現状と課題	◆少子高齢化、若年者を中心とした人口流出が進み、本市を取り巻く情勢はこれまでにないスピードで大きく変化していること。 ◆基幹産業(第一次産業)の低迷という内的要因と国の三位一体改革や世界的不況などの外的要因に重なり、職員や予算の削減で住民サービスの維持が困難である。	(1)宇和島市の現状(2)NPO団体の現状(3)自治会の現状(4)企業・団体の現状(5)市民の現状(6)課題 ◆上記分類で、「宇和島市の現状と課題」について、アンケート結果も踏まえた内容に更新。 ◆「現状と課題」のアンケート結果グラフについて、各主体毎の比較ができるデータを用いて、協働の重要性を認識していることが伝わるよう修正。 ◆「アンケート結果」の表について、グラフの母数(n=00)を付記。 ◆協働のイメージは、現状に即した内容に更新し、「第3章協働の考え方」に掲載。	◆第一次産業の低迷や国の三位一体改革や世界的不況といった現状にそぐわない表現を、「地域コミュニティの活力低下」へと変更。 ◆課題は章内で項目分けして記載。 ◆各主体(NPO団体、自治会、企業・団体、市民)へのアンケート結果から読み取れる現状と協働のまちづくりを推進していく上での課題について記載。 ◆アンケート結果グラフは、各主体で比較できるデータを用いる。 ◆アンケート結果グラフに母数追記。 ◆「協働のイメージ図」について、表を修正し、2章から3章へ変更。	なし。	◆第一次産業の低迷や国の三位一体改革や世界的不況といった現状にそぐわない表現を、「地域コミュニティの活力低下」へと変更。 ◆課題は章内で項目分けして記載。 ◆各主体(NPO団体、自治会、企業・団体、市民)へのアンケート結果から読み取れる現状と協働のまちづくりを推進していく上での課題について記載。 ◆アンケート結果グラフは、各主体で比較できるデータを用いる。 ◆アンケート結果グラフに母数追記。 ◆「協働のイメージ図」について、表を修正し、2章から3章へ変更。

章名 (現行)	章名 (改訂)	現行指針 (主な内容)	第1回-第3回策定委員会 (主な改訂内容)	第1回-第3回策定委員会 改訂のポイント	01_16_第4回策定委員会 (主な改訂追加内容)	第1回-第4回策定委員会 改訂のポイント(最新)
第3章 協働の基本的な考え方	第3章 協働の考え方	<p>(1) 協働とは (2) 協働の目的 (3) 協働のパートナー (4) 協働の役割 (5) 協働の領域 (6) 協働によって期待される効果</p> <p>◆上記の分類で、市民と行政が連携・協力して地域課題の解決に取り組んだり社会的課題に対応するための考え方について項目を立てて解説。</p>	<p>(1) 協働の領域 (2) 協働の形態 (3) 協働によって期待される効果 (4) 協働のまちづくりのプロセス</p> <p>◆上記の分類で、「多様な主体」が、地域課題の解決に向けて取り組むための考え方について、内容を更新。</p> <p>◆「協働のイメージ図」を、2章から3章へ変更。</p> <p>◆「協働とは」について、企業の社会的責任を果たすという表現を追加。</p> <p>◆「協働の目的」について、誰もが住みやすい地域社会の実現に向けたまちづくりの推進という表現へ修正。</p> <p>◆「公的サービス」について注釈を追加。</p> <p>◆「補完」の注釈について、個人という表現からそれぞれの主体という表現へ修正。</p> <p>◆「協働によって期待される効果」について、文末表現は、つながる・期待できるといった表現に修正。</p>	<p>※「現行：第3章協働の基本的な考え方」を、「改訂：第3章協働の考え方」へ名称を変更。</p> <p>※「現行：指針第5章協働事業のプロセスの確立と実施方法」、「現行：指針第6章協働を推進する施策」の一部（(1)協働事業のプロセスの確立、(2)協働の手法は、関連するため「改訂：第3章_協働の考え方」へ集約。</p> <p>◆協働の手法及び各主体の役割について新たに記載。</p> <p>◆協働の領域・形態・効果について、イメージ図などを用いた表現で記載。</p> <p>◆「協働のイメージ図」の掲載箇所を変更。</p>	<p>◆<u>協働のイメージ図内にある「多様な主体によるすべての人が住みやすい「宇和島市」の実現」を「すべての人が住みやすい「宇和島市」の実現」へ修正。</u></p> <p>◆<u>協働によって期待される効果内にある期待される効果について、市民目線で受け取ってもらいやすい表現に修正。</u></p>	<p>※「現行：第3章協働の基本的な考え方」を、「改訂：第3章協働の考え方」へ名称を変更。</p> <p>※「現行：指針第5章協働事業のプロセスの確立と実施方法」、「現行：指針第6章協働を推進する施策」の一部（(1)協働事業のプロセスの確立、(2)協働の手法は、関連するため「改訂：第3章_協働の考え方」へ集約。</p> <p>◆協働の手法及び各主体の役割について新たに記載。</p> <p>◆協働の領域・形態・効果について、イメージ図などを用いた表現で記載。</p> <p>◆「協働のイメージ図」の掲載箇所を変更。</p> <p>◆<u>「協働のイメージ図」の目指すべき姿(副題)を修正。</u></p> <p>◆<u>協働によって期待される効果内の表現を修正。</u></p>
第4章 協働の必要性と背景	—	<p>(1) 地方分権への対応 (2) 地域コミュニティ機能の低下 (3) 多様化する市民ニーズへの対応 (4) 市民の参画意欲の高まりと社会貢献活動の広がり (5) 行財政改革への対応</p> <p>◆上記の分類で、協働の必要性と背景について解説</p>	削除	◆「第2章宇和島市の現状と課題」と重複するため、削除。	なし。	◆「第2章宇和島市の現状と課題」と重複するため、削除。
第5章 協働事業のプロセスの確立と実施方法	—	<p>(1) 協働のプロセスの確立 (2) 協働の手法</p> <p>◆上記の分類で、協働事業のプロセスの確率と実施方法について解説。</p>	削除	「改訂第3章_協働の考え方」へ集約。	なし。	「改訂第3章_協働の考え方」へ集約。
第6章 協働を推進する施策	第4章 協働を推進する体制づくり	<p>(1) 協働のまちづくり推進体制の整備 (2) 市民と行政との情報・意識の共有化 (3) 多様な分野における市民の参画・協働の促進 (4) まちづくりの担い手の育成</p>	<p>(1) 協働のまちづくり推進体制の整備 (2) 多様な主体との情報・意識の共有化 (3) 多様な主体との協働によるまちづくりの担い手のまちづくりの担い手の育成</p> <p>◆「協働のまちづくりの推進体制整備」に、情報共有会議の場の推進といった表現を盛り込み、多様な主体が集まって協議し、推進していくという内容の表現へ修正。</p> <p>◆「多様な主体との情報・意識の共有化」は、情報収集・提供と共有化について市民と共有しますという表現へ修正。</p> <p>◆「多様な主体との協働によるまちづくりの担い手の育成」の、活動拠点の機能強化については、全ての世代にあてはまる内容に修正。</p>	<p>◆(1)協働事業のプロセスの確立、(2)協働の手法は「改訂第3章_協働の考え方」へ集約。</p> <p>◆協働のまちづくりの推進体制を整備していく上での協働の担い手についての表現を修正。</p>	<p>◆<u>「財政支援・制度の充実」について、「多様な主体による財政支援・制度の充実」へ修正し、新たな協働の在り方に対応した支援制度の充実を図るという表現に修正。</u></p> <p>◆<u>「行政の体制強化」について、地域資源・人材・資金についての情報を集約し、情報の共有を図ることで、地域課題の解決を推進する体制づくりに取り組むという表現に修正。</u></p>	<p>◆(1)協働事業のプロセスの確立、(2)協働の手法は「改訂第3章_協働の考え方」へ集約。</p> <p>◆協働のまちづくりの推進体制を整備していく上での協働の担い手についての表現を修正。</p> <p>◆<u>「財政支援・制度の充実」「行政の体制強化」について、表現を修正。</u></p>
その他 改訂のスケジュール (答申時期)		令和4年12月下旬(予定)	<p>◆第4回：令和4年1月16日 ◆パブコメ：令和5年1月19～2月上旬 ◆第5回：令和5年2月中旬 ◆答申：令和5年2月下旬</p>	◆指針策定のためのアンケート調査については、委員への内容の確認及びより正確かつ幅広く意見をいただくため、当初、想定していた規模より大幅に対象が広がったことから、左記のとおり、スケジュールを変更。	なし。	◆指針策定のためのアンケート調査については、委員への内容の確認及びより正確かつ幅広く意見をいただくため、当初、想定していた規模より大幅に対象が広がったことから、左記のとおり、スケジュールを変更。